

岐大のいぶき

No.13

2007 / April

発行 日:平成19年4月
発行 行:国立大学法人 岐阜大学
岐阜市柳戸1番1
☎058-230-1111(代表)
ホームページ:<http://www.gifu-u.ac.jp/>

GIDAI NO IBUKI GIDAI NO IBUKI GIDAI NO IBUKI GIDAI NO IBUKI GIDAI NO IBUKI GIDAI NO IBUKI GIDAI NO IBUKI

Published by GIFU UNIVERSITY



岐阜薬科大学との連合により 連合創薬医療情報研究科を設置しました

岐阜大学長 黒木 登志夫 ————— 2

地域と大学

創薬研究が地域を変える 「先端創薬研究センター」

先端創薬研究センター長 北出 幸夫 ————— 3

話題の研究

生命の化学反応を制御する 論理的創薬

～感染症、難治性疾患の治療に向けて～

人獣感染防御研究センター教授 桑田 一夫 ————— 4

エッセー

橋ものがたり

地域科学部 教授 竹森正孝 ————— 6

授業風景 ————— 8

卒業研究(工学部)
社会活動演習(地域科学部)
臨地実習(医学部看護学科)

サークル紹介 ————— 10

ラクロス部
ツキノワグマ研究会

座談会 ————— 12

私たちが考える教師像

大学への想い ————— 15

学んだことを生かす喜び!

植物防疫所勤務 古賀 由実子さん

平成19年度岐阜大学公開講座 — 16



岐阜大学

岐阜薬科大学との連合により 連合創薬医療情報研究科を設置しました



学内に咲くシデコブシ(筆者撮影)

国立大学の法人化によって、大学は自分の特徴をはっきりと打ち出さないと生き残れないようになりました。岐阜大学がとった作戦の一つは、生命科学と環境科学で特徴を出そうということでした。幸い、岐阜大学には、医学部、応用生物科学部、工学部生命工学科という生命科学の優れた学部があり、たくさん研究成果が発表されています。応用生物科学部の獣医学科は、中部地方ではただ二つの獣医学の教育研究施設です。さらに、2004年には、大学病院を新築移転しました。この病院は、世界で最先端の電子カルテを整えていますので、全国の病院から毎日のように見学者が来ます。

環境科学の研究では、野生動物の研究と、衛星生態学という新しい学問分野が、厳しい競争のなかから、21世紀COEに選ばれました。さらに、最近では、工学部の研究者が中心となって、未来型の太陽光発電についての研究センターを立ち上げました。

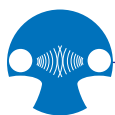
ご存知のように、岐阜には岐阜薬科大学という岐阜市立の優れた薬科大があります。全国の薬科



国立大学法人
岐阜大学学長
黒木登志夫

大学は、平成18年から6年制*になり、病院での医療薬学教育が必須になりました。このような状況のなかで、岐阜薬大は岐阜大と連携し、医療薬学の教育をしたいと思っていました。岐阜大も、岐阜薬大と一緒に、教育や研究を行いたいと思っていたのです。つまり、二つの大学は相思相愛の仲だったのです。ところが、設置者が国と市のため、いろいろな制約があり、なかなか一緒になれませんでした。そこで、二つの大学が共同で運営する研究センター(先端創薬研究センター)と連合大学院(連合創薬医療情報研究科)を立ち上げました。その上、岐阜大・医学部キャンパスに岐阜薬大の教育研究棟を作ることになったのです(平成21年度完成予定)。これで、相思相愛の大学同士は、めでたく「事実婚」にこぎ着けたというわけです。

国立と公立という大学間の壁が取り払われた最初の例として、全国の大学関係者から注目されています。皆さんも、一度、岐阜大学の美しいキャンパスに遊びに来てください。*(4年制併設)



創薬研究が地域を変える〈先端創薬研究センター〉



北出幸夫 センター長

「先端創薬研究センター」を設立した背景を教えてくださいませんか？

北出 高齢化に伴う生活習慣病や認知症などの増加は、健康問題を国家的・社会的な課題に押し上げています。更に医療制度を圧迫し、老後に対する不安を増大させています。このような状況のなか、健康を重視した安全・安心で活力ある社会を構築することが強く望まれています。そこで、創薬や予防医学を研究の中心課題とする機関として、設立しました。

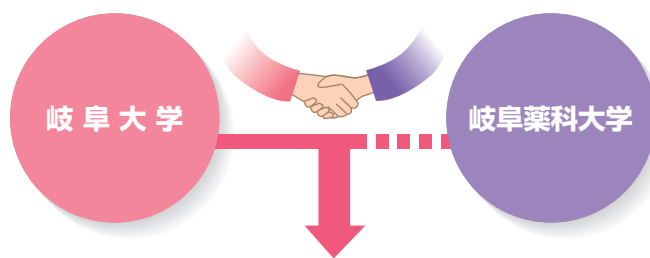
研究の目標とその成果が社会にどのような影響を与えたとお考えですか？

北出 当センターが行う研究分野は、科学技術基本計画の重点分野（ライフサイエンス分野）における重点領域に挙げられており、医療・

創薬、ゲノム創薬、オーダーメイド医療、脳研究、新興・再興感染症研究、分子イメージングなどがあります。また、国民が期待する生命科学の成果を日常医療に反映する、いわゆる「トランスレーショナル・リサーチ」を実現することが可能となります。更に、岐阜地域の大学等が蓄積してきた先端的なバイオ技術に基づく新産業基盤の創成は、大きな波及効果を持っており、岐阜地域における産業の再生や地域の新生に必須であると考えています。

この4月に開設した大学院連合創薬医療情報研究科とはどのような関係ですか？

北出 「連合創薬医療情報研究科」は、岐阜大学を中心に、岐阜薬科大学、アステラス製薬及び独立行政法人産業技術総合研究所との連携により、平成19年4月に発足しました。本研究科には創薬科学専攻と医療情報学専攻の2専攻があります。この専攻と先端創薬研究センターは補完関係にあり、大学院は人材育成を中心とし、センターは研究及び地域連携を中心とする組織です。



岐阜大学先端創薬研究センター

(平成17年10月1日設立)

岐阜大学と岐阜薬科大学が連携

- ✦ 高次生命機能探索分子、診断法、健康食品、医薬品の研究開発
- ✦ 大学発の技術移転による地域経済の活性化

先端創薬研究センターを中心に
岐阜大学と岐阜薬科大学が、諸機関との連携により設立

「岐阜先端創薬推進機構」の設立計画

各部門が協力して得られた研究成果は、教育にどのように活かされますか？

北出 当センターに配置した研究室において、創薬や予防医学に関連する研究を推進することにより、学部学生や大学院生は、先端的な創薬研究に直接接する機会が得られます。ここでは、目的意識を強く持った主体性を有する学生を育てることが可能になるものと考えています。

岐阜大学に入学してそれらの研究に携わることができますか？

北出 私が所属する工学部生命工学科の場合は、学部3年までは、創薬研究を行うための基礎教育を学び、4年生になると卒業研究の一環として、創薬研究を担当することができます。難病に苦しむ人々を救うために、多くの学生さんと共に日夜新薬の開発に挑戦しています。いずれの研究室でも、若くて情熱のある皆さんの参加を歓迎します。

生命の化学反応を制御する論理的創薬

～感染症、難治性疾患の治療に向けて～

岐阜大学人獣感染防御研究センター 桑田一夫

皆さんは、アニメ映画「千と千尋の神隠し」の主題歌に、次のような一節があることをご存知だと思います。
「生きている不思議、
死んでゆく不思議」
この一節を聞くと、今、生きていることが本当に「不思議」に感じられます。



桑田教授

現代の生命科学は、このような「生きている状態」を具体的に解き明かしつつあります。生命科学では、「生命」とは「化学反応」である、と考えています。例えば、ヒトの場合、約3万種類のタンパク質と約32億塩基対のDNA、その断片を編集したRNA、脂質、水、イオンなどが主役となって、極めて複雑な化学反応を行っています。

ところで最近、「BSE（ウシ海綿状脳症）」、「SARS」、「高病原性トリインフルエンザ」といった病気を

よく耳にします。これ以外にも、「神経変性疾患（アルツハイマー病など）」や「がん」といった、最先端の医療技術をもっとしてもなかなか治療の困難な病気が存在します。これらは、上記のように整然と行われている化学反応ネットワークの一部で病原体、または病気に関連する分子による異常な化学反応が進行し、その産物（毒性を持つ）が蓄積することにより、生体を構成している細胞、臓器、そして身体に障害を与えている状態といえます。

化学反応は、実験が可能でし、

条件を整えれば再現することも出来ます。もし、生命が化学反応であれば、通常の化学反応と同じように制御することもできるはずですが、しかし極めて複雑な化学反応が進行している状態のなかで、他に影響を与えず一部の反応だけを制御する手段は限られています。着目する反応のみに関与できるよう、注意深く戦略的にデザインされた特殊な分子を、外部から送り込む以外にたぶん方法はないでしょう。このような物質をデザインする分野を、「論理的創薬」と呼びます。

生命における化学反応の主役は、タンパク質や核酸（DNA、RNA）です。その分子量は非常に大きく（数万～数十万）、構造も複雑で、簡単に紙に書いたりすることは出来ません。そこで、これら巨大分子の立体的な「かたち」をみるために、コンピ



図1 コンピューターで分子のかたちをデザインする。

ューターを使用します（図1）。「かたち」を見ながら、巨大分子が関与する化学反応を制御するための、小さな分子（薬、分子量数百程度）を注意深く設計します。コンピューターは、原子の世界を説明する量子力学や量子化学の計算方法に基づいて、薬の化学構造を厳密に設計します。勿論、そのためのプログラムは、研究者が創らなくてはなりません。実

際に設計された薬の分子は、紙に書けるくらい、簡単な構造をしています（図2）。

異的な発展により、現在では、それは生命科学を支える基礎技術となつています（図3）。

生命科学は、コンピューター技術の進歩と並行して進んで来ました。このような「コンピューター・サイエンス」は、現代では生命科学のみならずどの分野においても、必要不可欠な技術となっています。創薬実験を行うには、まず主役であるタンパク質や核酸を作る必要がありますが、20世紀後半の分子生物学の驚

次にコンピューターが設計した小さな分子（薬）を有機合成する必要があります（図4）。この工程は、現代でもかなり大変で、コンピューターが設計した分子を作ることが常に可能なわけではありません。有機合成された分子と上記のタンパク質や核酸が、どのように作用しあうのかは、例えば、

生命の化学反応を制御する論理的創薬

生命の化学反応を制御する論理的創薬

Nuclear Magnetic Resonance（NMR）などを使用することにより、原子ひとつひとつを手にとるようには確認することが出来ます。

最後に、この小さな分子が、予定した通りの制御を行ってくれるかどうかを生物で試してみる必要があります。多くの場合、まず培養細胞で確認します（図5）。次に動物実験により、その効果や安全性を確かめます。これらがうまくいけば、病気の治療に有効かどうかを判定する臨床試験へと進むことが可能となります。しかし、実際に患者さんが服用できるようになるまでには、このあと数多くのステップを踏む必要があります。

以上述べたような「論理的創薬」により、現在治療法のない難治性疾



図6 人獣感染防御研究センター

患に対する治療薬開発への道が開けます。岐阜大学人獣感染防御研究センター（Center for Emerging Infectious Diseases「CEID」）では、このような「論理的創薬」を出来るだけ効率よく実現するため、様々な開発・研究を行っています。その概念を図6に描いてみました。

CEIDでは、出来るだけ多くの方が研究に参加して戴けるよう、様々な制度・仕組みを準備しています。詳しくは、ホームページを御覧下さい。

(<http://www1.gifu-u.ac.jp/~ceid/>)

参考文献・桑田一夫編著
論理的創薬入門 共立出版
2006年

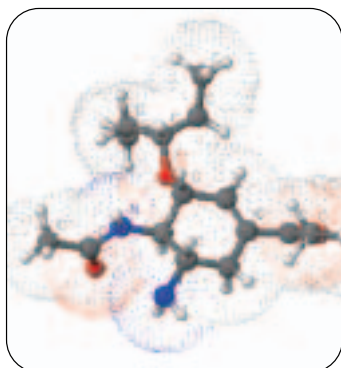


図2 インフルエンザ治療薬「オセタミビル」



図3 タンパク質や核酸を作る。



図4 分子を有機合成する。



図5 分子の動きを調べる。

橋ものがたり

地域科学部 竹森正孝

東京の下町に住んでいると、隅田川（古くは大川）に架かる橋、千住大橋から勝鬃橋にいたる多くの橋を、堤の桜を見ながら、遊覧船でその下をくぐりながら、そしてときには両国の花火を見ながら、眺める機会が多い。そのひとつひとつが個性豊かで、たとえば藤沢周平の『橋ものがたり』で描かれる市井の人々の行き交う情景を思

い浮かべることができる。最近、水辺に近いところに遊歩道ができ、水面に映る橋の姿を眺めながらの散策も楽しめる。実に穏やかなひとときを過ごすことができるのである。

のどかな気分を破って申し訳ないが、「橋」を思うとき、しばしば、こんな情景とはまったく異なるもうひとつ別の風景を思い出す。

ボスニア・ヘルツェゴビナという国をご存知だろうか。旧ユーゴスラビアを構成していた国で、1990年代のユーゴ紛争のもつとも激しかったところである。この国の東部のヴィシエグラドという山間の町に「チュブリヤ」と呼ばれる美しい石の橋がある。ドナウ川の支流、サヴァ川に合流するドリナ川に架かる橋で、静かで平和な町の美しい橋であった。しかし、内戦はこの町にも及び、戦闘によって橋も破損したという。「チュブリヤ」は、ノーベル文学賞作家のイヴォ・アンドリッチの『ドリナの橋』で広く世界的に知られるようになった。この橋は、かつてはトルコ、セルビア、一時期はオーストリアと境を接する国境の町に架かっているが、この橋を挟んで、あるときはオスマン帝国（トルコ）が、あるときはセルビアがこの町を支配し、略奪を含む軍事行動が展開され、またこの橋を渡ってキリスト教文化やイスラム文化が交流し、かつせめぎあった。橋の美しさの影に、悲惨で陰惨な殺戮や略奪、政治や軍事がらみの文化や宗教の交流や支配、そしてその背後

での、ひとびとの苦しみや嘆きが見え隠れする。アンドリッチは、この小説でボスニアの隷属の400年間を描きながら、そこに住む市井のひとびとの暮らしと思いをめぐりに私たちに伝えている。

川はその兩岸を隔て、橋はその兩岸を結ぶ。しかし実は、結ばれるのは岸ではなく、ひとその生活や文化である。橋のこちらとあちらでは、文化や宗教が違ふこともあり、下町や山の手といわれるように住むひとびとの階層や暮らし向きが違ふこともある。そんなことから、橋は、経済的、政治的、軍事的目的から建設され利用されることが多い。その橋を市井のひとびとが渡りはじめ、行き来するとき、その橋は新たな生命を吹き込まれる。アンドリッチが描き、藤沢周平が語りかけるように、橋は、その兩岸に住み、息ついたひとびとのふつうの暮らしが交わり、悩み苦しみ、ときには間違いを犯しながらも、お互いに生身の人間として付きあい、わかりあい、そして許しあう場、日常語としての世間（社会）がいつまでも続くことの大切さを語りかけてはいないだろうか。そのとき、川は兩岸を隔て、分つのではなく、ひとびとにとつての心の清流ともなるのだろう。実に橋は、歴史の語り部でもあり、今あるひとの社会と文化の営みの将来への渡し守でもあると思うのである。



ひとはのどかに暮らしたい…、群れて咲くタンポポのように（筆者撮影）

社会活動演習

地域科学部1年 服部めぐみ



この実習を通して、市民のために働くことの重要性を学ぶとともに、28回も続いた市民にアジアの文化を伝える「ぎふアジア映画祭」が、これからもずっと続いてほしいと思います。

社会活動演習は、大学以外の社会における経験を通じて、社会に対する理解と実践的な能力を養う学習です。今後の大学での学習にさらに生かしていくためのもので、1年生の前期にガイダンスがあり、夏休みなど長期の休暇期間に数日の演習が行われます。

私のグループは、「ぎふアジア映画祭」を企画運営する団体の活動に参加しました。実習では、映画祭当日の運営補助などの仕事だけでなく、準備段階から加わりました。主な活動は、ダイレクトメールを作ったり、ポスターを貼りに商店街（岐阜市柳ヶ瀬）をまわったりと大変で、当日を控え、表方（イベントにおける接客担当の俗称）講座を受けたりしました。

臨地実習

医学部看護学科4年 浅井麻仁子・丹羽加奈絵



看護学科の学生は3年生の後期から、大学の付属病院を中心に臨地実習を行います。それぞれの学生が、同意を頂いた患者さんを受け持ち、看護を展開していきます。

まず疾患や受け持ち時までの経過などについて、カルテや患者さんとの関わりの中で情報収集していきます。そしてその患者さんに必要なケアなどを学生が主体的に考え、看護師さんや先生から助言を頂きながら実施していきます。いろんな患者さんや医療者の方と実際に関わり、また学生間での意見交換を通して、講義で学んだ知識や技術をより深めていくことができます。

記録物は少し大変でしたが、患者さんの反応や変化によって達成感や喜びを味わうこともできたので、貴重な経験となりました。

LESSON SCENERY

卒業研究

工学部機能材料工学科4年 内藤圭史

卒業研究は、これまで学んだ様々な科目を基礎にテーマを決めて研究する、大学生にとって総仕上げともいうべきものです。特に私は全く新しい実験装置を使う喜びを得ることができましたし、研究の進め方について先生と話し合う中で、親密感も増しました。更に、研究の成果を発表する卒論発表会では、与えられた短い時間で、専門外の人達にもわかり易く説明すると言う貴重な体験をしました。パワーポイントのすこやアニメも実感しました。

私は、大学に入学して様々なことを経験し得ることができました。機能材料工学科の1期生として入学し、化学、物理、電気と幅広い分野の勉強をし、与えられたものを考えるのではなく、自分で考え答えを見つけていくという力を身につけました。また、勉強だけでなく、サークルを通して、多くの人と出会い、ともに学びともに遊び、みんなで協力して一つのことを成し遂げたときの達成感や喜びというものをみんなで感じることができました。

大学で出会った多くの仲間や得たことというのは、私の人生において大きな財産となっていくと思います。



授業風景



サークル 紹介

ラクロス部

私たちラクロス部は、今年で創立6年目を迎え、今や男女合わせて80人を超える、男女ともとても仲のよいサークルです。

「ラクロス」ってどんなスポーツか知っていますか？

男女でルールにいくらか違いはありますが、スティック（棒に網がついたもの）とゴム製のボールを使って、サッカーグラウンドほどもある広いエリアを駆け回り、相手ゴールに打ち込んだシュート数で得点を競います。大学生から始める競技なので、みんなスタートは同じです。努力次第で、東海ユースや日本代表などを目指すことも可能で、岐阜大学からも東海ユースに選出された選手もいます。

昨年はついに男子が東海学生ラクロス二部リーグで全勝し一部リーグへ昇格、女子も二部Aブロック2位という結果を残しました。男子・女子ともこれからのびていくチームです。また、グラウンドでの練習以外に、様々な活動や合宿などを通して友達の輪も広がります。

みなさんもぜひ、大学で「ラクロス」というスポーツやってみませんか？ お待ちしてます♪



サークル 紹介

ツキノワグマ 研究会

僕たち、ツキノワグマ研究会はツキノワグマの生態を深く知るために二年前から岐阜県白川村で週末を利用して調査をおこなっています。

中心となる調査はラジオテレメトリー調査です。ドラム缶式ワナを設置してクマを捕獲し、電波発信機を首にとりつけます。その後クマを放し電波受信機を使って、クマの行動を把握しようというものです。この調査によって、どのような森、土地を利用しているのかが分かります。他にも踏査といって、山を歩き、クマのフン採取し分析をおこない、何を食べていたのかを調べたり、シードトラップといってクマのよく利用するブナ、ミズナラ林の堅果を集め、実の豊凶を調べクマにどのような影響があるのかを調べたり、また定点観察したりします。

今、ツキノワグマの大量出没が世間を大きく賑わしています。捕殺頭数も大変な数に上っています。ツキノワグマ研究会は、クマと人がうまく共存できる環境作りに少しでも役にたてるように頑張っていこうと考えています。

テーマ

「私たちが目指す教師像」

■司会者
鈴木 壮
(教育学部臨床心理学 教授)

■出席者

平野 和俊
(生涯教育講座 3年)

澤之向 達也
(社会科学教育講座・哲学 3年)

坂井 成仁
(技術教育講座 3年)

岐阜で先生に



鈴木 木 ▼ 主に、教員養成学部である教育学部に入学した動機をお話ししてください。

平野 ▼ 人に教えることが好きで、地元の岐阜で先生になりたいからです。

澤之向 ▼ 僕は、授業を作る楽しさを感じました。こんなことを言うときつとあの生徒は、こんな質問をするだろうな、とか、考えて、生徒から「おもしろかったよ」と言われた時は嬉しかったですね。でも、駄目な授業のときは落ち込みました。

坂井 ▼ 僕は、工業高校出身ですが、教師にあこがれていました。高校2年の秋に、技術教育講座に工

業高校対象の推薦入試があると指導されて受験しました。

鈴木 木 ▼ 3人とも「教師」を志望して入学したわけですが、3年経った今、入学前と比べてどうですか。

澤之向 ▼ 高校までと違って、大学は、初めての人とふれあう機会が多く、新しい出会いがあり、大変刺激を受けました。

平野 ▼ 学生の出身地が様々で、価値観や物事の考え方が違う人が多くいます。その中で、自分の考え方をしっかりと持てることが大事だと思っています。



坂井 多 ▼ 多くの人の出会いは、自分から進んでコミュニケーション

シオンをすることが大事で、社会人としても重要なことだと思うし、良い経験だと思っています。

鈴木 木 ▼ 教育者の視野は広い方が良いでしょうし、人との出会いに関心があるのは、教師を目指す者にとって大切なことです。皆さんは、自主的に実践できており、大変嬉しい

です(笑)。人と関わることはもとより好きだったんですか。

平野 ▼ 最初は、先生の指導もありましたが、大学では、自分で目標を作り、目標に向かって何をどうすれば良いか考える力が必要だと気づきました。



澤之向 ▼ 大学は、自分の時間がとても多いからサークル活動やバイトなど、色んな人と出会うチャンスを生かすべきだと思っています。

平野 ▼ 勉強だけではないですね。大学は社会の入り口と言う気がします。

授業を作る楽しさ

鈴木 木 ▼ 皆さんは教師の資質を備えていると言えますね。ところで、教育学部は、AC Tプラン(*1)という教育プログラムを実施して1年生から教育の現場に接していただけていますが、どうでしたか？

澤之向 ▼ 授業だけでは解らない子

鈴木 木 ▼ AIMSは、運用開始後間がないので、もって授業や教材の提供が必要ですね、私も含めて(笑)。教育学部だけではなく他の学部でもAIMSによって様々な取組が始まっていますので、期待してください。

次に、1年後には、教員採用試験を受けるわけですが、準備計画をお聞かせください。



平野 ▼ 採用試験勉強は、就職に繋がるわけで、大変つ

らいと感じています。今、一番つらいのは、自分の持ち味、自分らしさを発見できていないことです。

鈴木 木 ▼ 自分を発見するには他の人と話してみることです。相手の反応で自分がわかるということがあります。また苦手な人と話をするのも大事です。自分の嫌な面や影の部分は、表に出てこないし、出たくもないものです。でも、いろんな人と話をすることで、自分の表面が取り払われ、内面にあるものが出てくる可能性があります。皆さんは自分が考えていることや感じていることを腹を割って話したことがありますか。

澤之向 ▼ それで不安になることがあります。内面を出す機会が少

供の姿を1年から見ることができ、そのなかで子供と接していると、すぐに反応が解り、接し方のイメージがわきました。

平野 ▼ 3年の教育実習は、AC Tプランの教職トリアル(1年)、教職リサーチ(2年)と徐々に経験したおかげで、スムーズに現場に入れました。ただ、トリアルは時間が少ないと感じました。

坂井 ▼ 僕は、トリアルのおかげで、授業の目的が明確になりました。

鈴木 木 ▼ 他の大学には無い「AC Tプラン」に対して、様々な意見や評価結果を聞いていますが、皆さんの感想から1年生から現場に出ることが役立っていることが解りました。その中で、教育実習は、トリアル、リサーチに比べて実習期間が長いのですが、いかがでしたか。

3人共 ▼ 楽しい、と大変(笑)。終わってみれば「良かった」が残りました。

平野 ▼ 自分が中学生の頃は、部活が終わるとすぐ帰ったのでわからなかったけど、その後の先生の仕事をすることができました。遅く

なく、友人同士でもなかなか難しい、自分はどんな「人」なのか？なんて会話もたまにあります。坂井 ▼ 教育実習の反省会で、「もっと自分を出せ」と言われて、ドキッとしてました。どうしたらいいか考えたんですが……

鈴木 木 ▼ 自分を出せる人、抑え気味の人、人によって違い、どれが良いとか悪いとかではありません。カウンセラーをやっている人、人を知るためには、自分を知る必要があります。自分を知らない人と人を理解することは出来ないと言っています。

一生やっていくことです。人に関わって欲しいと思います。大学院生だと、私たちも良く話をしますが、学部学生とは機会が少ないですね。もっと話をする機会を作りたいですね。

平野 ▼ 確かに機会は少ないですね、グループ学習ぐらいです。鈴木 木 ▼ 卒業論文をまとめる時期には、結構その機会も多くなりますよ。

目指す教師像

それでは、最後に皆さんの「目指す教師像」、平たく言えば、どんな先生になりたいですか。

澤之向 ▼ 印象に残っている先生は、明るい先生かな。小学校の時、先生の質問にふざけて答えた経験が

まで頑張っている先生の存在は良い経験もあり、自分がここまでやれるか不安でもあり……

澤之向 ▼ 僕は、授業を作る楽しさを感じました。こんなことを言うときつとあの生徒は、こんな質問をするだろうな、とか、考えて、生徒から「おもしろかったよ」と言われた時は嬉しかったですね。でも、駄目な授業のときは落ち込みました。

鈴木 木 ▼ 1ヶ月間の実習期間で生徒の反応を体験できたことは、すばらしいと思います。「やらせられた」という意識では、そのような経験は出来ないと思います。また、子供は正直ですから、その反応を自分の肌で感じ、学ぶことは大切ですね。

平野 ▼ 教育実習は授業だけではなく、生活指導も考えると難しいですね。

澤之向 ▼ 実習中の生徒との信頼関係を築くのは難しいと思いますが、中学の実習で少し頑張ってみました。それは、掃除の時間に座り込んでない生徒の前で、一生懸命掃除して見せました。

3日目に掃除時間が終わった時、「先生、雑巾洗ったのか」と言われ、少し変化したかと思いました。

坂井 ▼ 僕の実習校では、担任の先生が食べ物を粗末にしないよう

あります。その時、しかられると思う
ていたのですが、その先生は笑って
くれました。自己反省です。もう
こんなことは止めようと、悪いと
ころ良いところ両方見てやれる先
生です。

坂井▼自分は中学校3年間の
印象が少ないのです。子供には中
身の濃い時間を増やしてあげたい
と思います。学校は楽しいところ
であることを感じさせたいです。

平野▼子供のことを考えられる
先生かな。自分は目立つ子供でし
たが、自分と違う性格の子供も理
解できる先生になりたいです。教
育実習中は30人の子供、一人一人を
解ることが出来なかったので、それ
を目指したいと思います。

鈴木▼苦手な人も含めてちゃん
と生徒を見られるようになってほ
しいですね。

平野▼「いじめ」とかは、保護者
と教師の立場の違いから生まれる
こととか、授業がうまい先生は指
導もうまいようなことを新聞で
読みました。僕は、授業を大事に
して、子供が信頼してくれればいい
なと思います。

鈴木▼まだ1年間あります。皆
さん、色々な体験を通して、人の気
持ちの分かる先生を目指してく
ださい。ありがとうございます。

*2



▲AIMS-Gifu利用講習会の一場面



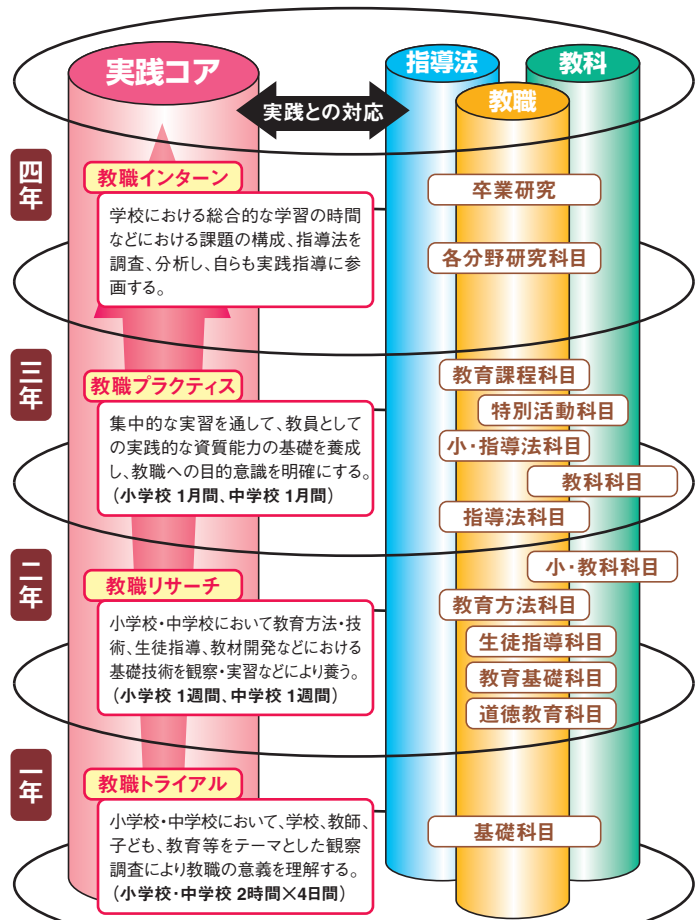
▲AIMS-Gifu (e-Learning System) のトップページ

AIMS (Academic Instructional Media Service) - Gifuは、e-Learningの手法をオン・キャンパスの教育に積極的に適用した総合的な教育支援システムで、Blackboardと関連システムにより構成されています。

平成16年度より本格運用となり、学内の教務情報支援システム等との連携を強化し、講義科目や履修登録結果を自動的にAIMS-Gifuに反映するシステムとなりました。AIMS-Gifuには、学内の全ての学生、教職員が登録され、全ての講義科目での利用を可能としています。講義に関するシラバス、資料、連絡、課題提出、コミュニケーション、アセスメント等の機能の利用が可能となっています。また、テレビ会議システムを利用した遠隔講義もAIMS-Gifuから支援でき、遠隔講義の制御やVOD (ビデオオンデマンド) のシステムとも連携しています。

*1 「ACTプラン」カリキュラム方針

- 4年間を通して「実践コア」により教育現場での体験を積み重ね教育実践能力を養成する。
- 「実践コア」を機軸として「指導法」「教職」「教科」の科目を位置づける。
- 教員は、「実践コア」のクラス担任指導等を通して教育現場への関わりを深める。



大学への想い



私は一年前、岐阜大学大学院農学研究科を修了し、植物防疫所に勤務しています。植物防疫所とは、農林水産省に所属する機関で、全国の国際空港や国際港で輸出入される野菜や種苗などの植物類の検疫（外国からの有害病害虫侵入阻止）などを仕事にしている機関です。

植物検疫というのはみなさんには馴染みのないことだと思います。しかし、日本に輸入されている膨大な量の野菜や果物、種苗などの植物類は日本に輸入された際、必ず検査（植物検疫）を受けています。外国産カブトムシなど生きた昆虫の検査も植物検疫の一つです（詳しくは植物防疫所ホームページ（<http://www.pps.go.jp/>）をご覧ください）。

私は、大学で植物の遺伝から生態系といったことまで広範に勉強しました。そして、授業等を通して新しいことを丸覚えするのではなく、それを基に考えるということを学び、「遺伝子組み換え作物」

「環境問題」といったマスコミで話題となっているような問題に対し、自分の意見を持つことができました。私の仕事で必要な病害虫の知識は、幅広く学んだ大学よりも毎日の仕事での経験から得たことの方が多いと感じています。しかし、大学で学んだことは決して無駄ではなかったと思っています。

私が社会人になって思ったことは、大学生活では専門知識を得ることの他にも自分から積極的にアルバイトやサークル活動など色々なことを経験しておいてよかったということです。私は大学生活中アルバイトで接客やセールスを経験し、人に理解してもらえるよう伝えることの難しさなどを知ることができました。また、学科や部活でよき仲間に出会えたことができた。これから学生生活を送る人にも、様々な事を積極的に経験し、学んで欲しいと思います。きっと何か自分の役に立つときがあると思います。

学んだことを生かす喜び！
— 大学で思考の骨格づくり、
社会で肉付け・血を通わせる —

農学研究科修了
古賀由実子

平成19年度岐阜大学公開講座

平成19年度に予定している公開講座について紹介します。実施部局へお気軽に問い合わせください。

講 座 名		受講対象者	開催日	講習料	実施部局電話番号
授業公開講座	言語文化論	一般社会人	10月1日(月)～20年3月28日(金)	10,200円	教育学部 058-293-2351
	スポーツカウンセリング		10月1日(月)～20年3月28日(金)		
親子天文教室(4回)		小中学生とその保護者・一般	4月28日(土)、7月、11月、3月予定	無料	
昆虫教室 「わくわく、びっくり!昆虫探検」		小学校低学年とその保護者	7月28日(土)(予定)	無料	
美術教育講座 高校生のための美術教室(6講座)		高校生	10月20日(土)～11月17日(土)	無料	
化石教室「三葉虫を調べよう」		小中学生 (保護者は参観)	11月3日(土)(予定)	無料	地域科学部 058-293-3002
戦争と平和を考えるⅡ		市民一般 (高校生を含む)	9月15日(土)～10月6日(土)	7,200円 (学生は6,000)	
工学の最前線2007	接着の化学と技術 ー上手に接着をするためにー	市民一般、 技術者、学生	4月16日(月)	無料	工学部 058-293-2365
	情報通信理論と多面体の数理 (モールス信号からデジタル通信へ)		4月24日(火)		
	地球における雷の役割生命の誕生から雷災害、温暖化指標まで		6月28日(木)		
	放射光を使って蛋白質の動きを見る		7月上旬		
	「こんなこととしてます社会基盤工学科」 ー微生物や植物による環境修復の可能性と課題ー ー自然エネルギーを支える社会基盤技術ー ー自分達でやらないきゃ!安全・安心なまちづくりー ー地震を正しく恐れ、正しく備えるためにー	高校生、教員、一般市民	8月7日(火)		
	ネットワーク理論とは? ー易しい数理モデルほど研究は難しいー	市民一般、 技術者、学生	10月5日(金)		
	バーチャルリアリティとシミュレーション		10月17日(水)		
	「製品事故と機械技術者の責任」 ー特に締結・接合部に着目した事故例と力学的・技術的解説ー		10月上旬		
	石油と触媒そして環境		11月上旬		
	次元解析ー単位だけでここまで分かるー		20年1月下旬		
応用生物科学部 高校生のための体験実験講座		高校生、 指導教員	8月4日(土)、5日(日)	無料	応用生物科学部 058-293-2835
生涯学習とまちづくり ーまちづくりに向けた学習プログラムの作成ー		生涯学習・社会教育関係 職員、ボランティア指導者	12月9日(日)	6,200円	総合情報メディアセンター (生涯学習システム開発研究 部門) 058-293-2284



春は新たなスタートと出会いの時。4月からは岐阜薬科大学との連携による連合創薬医療情報研究科が発足し、岐阜大学もまた一つ新たなスタートを切った。キャンパスは多くの新入生を迎え、フレッシュな息吹にあふれている。この「岐大のいぶき」が、皆さんと岐阜大学の新しい出会いのきっかけになってくれればと思います。(室長)

岐阜大学広報企画室

室長／山本 晃(理事)

室員／益子 典文(総合情報メディアセンター)
土井 守(応用生物科学部)

野原 仁(地域科学部)

岐大のいぶきについての
ご意見・ご要望をお待ちしています。

送付先／岐阜大学総務部総務課広報室 〒501-1193 岐阜市柳戸1番1
TEL058-293-2009 FAX 058-293-2021 E-mail:kohositu@gifu-u.ac.jp

表紙: ヒレンジャク、岐阜大学キャンパス内にて黒木登志夫学長が撮影
広報誌名の由来: 「いぶき」は、滋賀・岐阜県境にある伊吹山と活動をもよおす気分・生気・活気を意味する息吹をかけており、岐阜大学の「いぶき」を感じてほしいという願いが込められています。

岐大のいぶきはホームページ<http://www.gifu-u.ac.jp/>でもご覧になれます。